

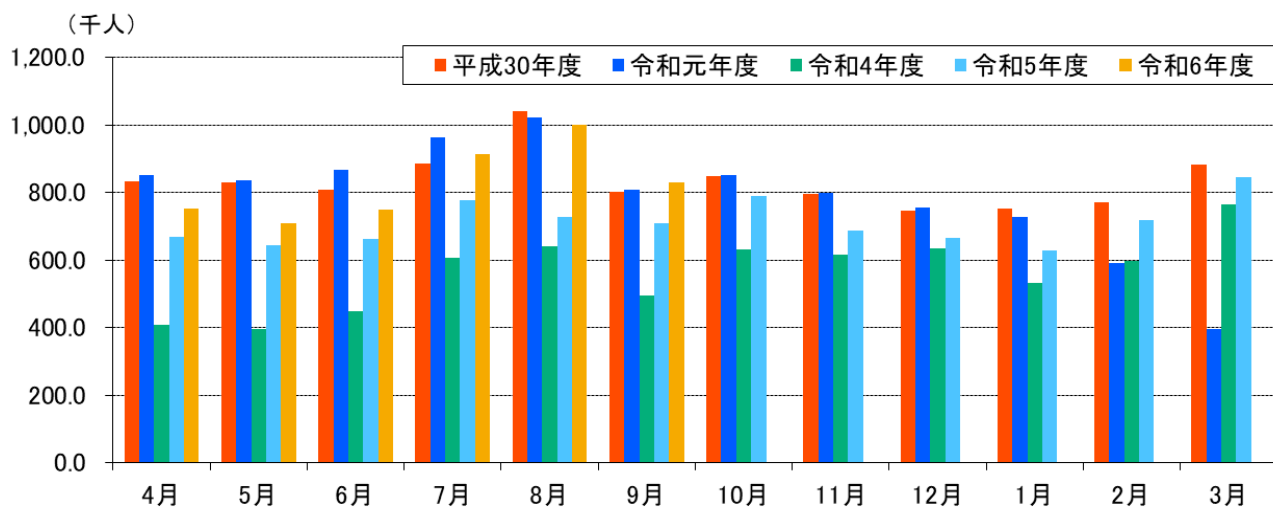
令和6年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和6年10月発表

令和6年度上半期 495万7,100人
対前年度(R5)比 +76万1,200人 +18.1%
同期比では過去4番目、4年連続の増加
令和元年度同期比 ▲39万1,500人 ▲7.3%

入域観光客数（国内+外国）

■月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和4～6年度）



■令和6年度上半期入域観光客の状況（令和5年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	752,300	710,400	748,000	915,400	1,000,000	831,000	4,957,100
令和5年度	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	4,195,900
増減数	82,500	65,200	84,600	136,600	271,400	120,900	761,200
増減率	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.2%	17.0%	18.1%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	-99,100	-124,500	-120,200	-48,200	-21,200	21,700	-391,500
増減率	-11.6%	-14.9%	-13.8%	-5.0%	-2.1%	2.7%	-7.3%

■令和6年度上半期の概況（総括）

令和6年度上半期の入域観光客数は、495万7,100人と、前年度同期比18.1%増（76万1,200人増）で4年連続の増加となった。令和元年度上半期と比較すると7.3%減となっている。

国内観光客数は、コロナ禍前の水準を上回り、過去最高を記録した。

外国人観光客数は、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航の進展により段階的に回復しつつあることから、下半期においても回復傾向が続くものと見込まれる。

国内観光客についての動向

■令和6年度上半期国内観光客の状況（令和5年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	593,400	561,500	577,600	692,300	768,500	634,800	3,828,100
令和5年度	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	3,663,400
増減数	-9,700	-13,800	-8,100	28,700	136,300	31,300	164,700
増減率	-1.6%	-2.4%	-1.4%	4.3%	21.6%	5.2%	4.5%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	-7,700	-5,000	7,800	31,500	30,200	44,200	101,000
増減率	-1.3%	-0.9%	1.4%	4.8%	4.1%	7.5%	2.7%

■国内観光客の概況

令和6年度上半期において、4月～6月期は全国旅行支援の反動減等の影響により、前年度同期比で減少した。一方、7月～9月期は夏休み期間中の旅行需要を見込んだ航空会社の臨時便・増便・季節運航等が好調に推移したことから前年度同期比で増加した。

また、6月～9月期は令和元年度同期比でも増加し、コロナ禍前の水準を上回っている。

外国人観光客についての動向

■令和6年度上半期外国人観光客の状況（令和5年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和6年度	158,900	148,900	170,400	223,100	231,500	196,200	1,129,000
令和5年度	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	532,500
増減数	92,200	79,000	92,700	107,900	135,100	89,600	596,500
増減率	138.2%	113.0%	119.3%	93.7%	140.1%	84.1%	112.0%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	-91,400	-119,500	-128,000	-79,700	-51,400	-22,500	-492,500
増減率	-36.5%	-44.5%	-42.9%	-26.3%	-18.2%	-10.3%	-30.4%

※8月及び9月については速報値

■外国人観光客の概況

令和6年度上半期は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度同期比で59万6,500人の増となった。

一方、令和元年度上半期と比べると、中国本土便など一部航空路線の運休継続の影響により69.6%の水準にとどまっている。しかし、航空路線の復便やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、段階的に回復している。

下半期は、那覇・台北路線の増便、バンコク・台北経由・沖縄路線及び那覇・台中路線の新規就航、大型クルーズ船（台湾、中国本土発着）の多数寄港予定などにより、更なる回復が見込まれる。